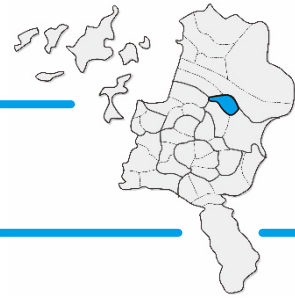


ごみょう

五明地区

人口:426人(高齢化率48.8%)

世帯数:225世帯

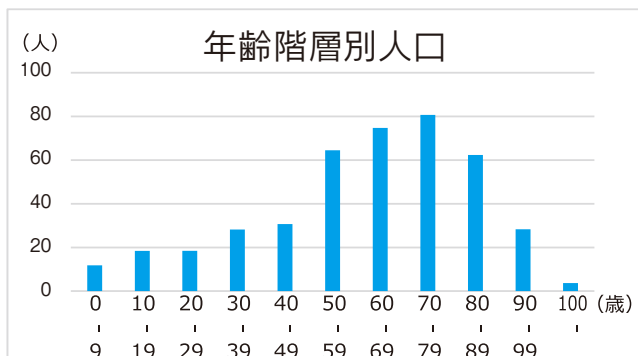


【地区の特色】

五明地区は、市内中心より北東に位置し、標高300mの中山間地域で自然に恵まれた地域である。花崗岩^{かこうがん}土壌と昼夜の温度差がある立地条件を生かし、古くからぶどう栽培に取り組んでいる。また、五明太鼓などの芸能文化の振興を盛んに行っている。地区内には源氏ボタルが自然発生する「五明川」が流れており、地域が一体となって「ふるさとの自然と文化の継承」に努めている。



五明小学校児童による五明太鼓と獅子舞



【地域住民からみた地域の状況】

地区の強み	<ul style="list-style-type: none"> ・顔見知りが多く、どこの誰だか把握できる ・家庭内の事情がある程度わかっている ・個人でゴミ捨てや買い物の助け合いをしている ・移動スーパーが来る ・車での通勤 ・通学時間は混雑も無く20~30分で市内中心部へ行ける ・自然が豊かで季節を肌で感じることができる ・食べ物(たけのこ、ぶどう)がおいしい ・自主防災と連携し災害時の避難の仕組みを作っている ・乗合タクシーが利用できる ・まち協ができ、地域団体との連携が取れている ・田植え稲刈りなど地域の子ども達との交流
地区の弱み	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢家庭や独居家庭が増えた ・子どもが少ない ・若い人が街へ出てしまう ・交通の便が悪く、通院、買い物が不便 ・利用者数減によるバスの廃線 ・イノシシ、シカ、サルによる作物被害
福祉課題	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化と少子化(児童減少で小学校の存続が心配) ・交通の便が悪い ・免許証を返納すると外出が困難 ・金融機関が遠い ・店が少ない ・車の往来しにくい狭い道や、豪雨のたびに崩落が起きる悪路がある ・空き家、空き地も多く掃除が行き届いてない、活用できていない、危険 ・災害時の危険箇所が多い ・高齢者の地域の役が多く、交代が困難になってきている ・在宅で生活し続けることが難しい ・様々な役の後継者不足 ・集落によって課題の深刻度合いが異なる

五明地区社会福祉協議会

人が好き 自然が好き 五明が大好き

構成団体	地区民協・区長会・まちづくり協議会・公民館	
主な取り組み	活動内容	
福祉弁当	75歳以上の高齢者を対象に、安否確認を込めた見守りも含め、4月にたけのこごはんを作り配布しています。	
夏休み大清掃	小学生が気持ちよく二学期を迎えることができるよう、通学路および小学校周辺を地域の方で清掃しています。	
シクラメン配布	毎年12月に五明苑の入所者と在宅の75歳以上の独居高齢者、90歳以上の高齢者世帯を訪問し、シクラメンをプレゼントしています。	

お米作り体験学習

福祉学習事業の一環として、公民館、PTA、まちづくり協議会、民生委員・児童委員と連携し、田植えから稲刈り、もちつき、しめ縄作りまでの各種農作業を通して児童の教育と地域の幼稚園児から高齢者までの交流を支援しています。



<地区社協が目指すもの>

五明地区社協は、公民館をはじめとする地区内の団体と連携し、自主防災訓練、敬老会、さくらまつり、ほたるまつり、盆踊り大会、地区運動会、しめ縄づくり、もちつき、ふる里まつりなどの地域行事と並行した社協活動の実施を基本方針としています。

今後の目標としては、五明地区まちづくり協議会との連携をさらに深め、日常生活の困りごとを地域住民同士で支えあっていけるよう地域福祉活動の強化を目指していくものとします。

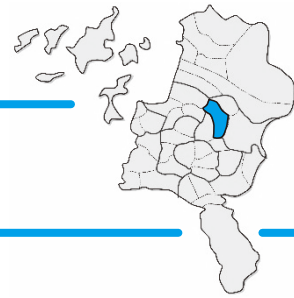
地区の状況	■地区民協	6名	■町内会・自治会・区長会等	10団体	
	民生委員		2名	■高齢クラブ	0クラブ
	主任児童委員			■子ども会	0団体
	■まち協の設立	平成23年度	■自主防災組織	5組織	

人間関係の希薄化が問題視される現在において、五明地区では互いの顔を知り助け合える関係が維持されています。このような関係性があるからこそ、地域を守る自主防災訓練のほか、お祭りや運動会などの恒例化された地域行事が継続されているといえるでしょう。中心部への若い世代の流出は多くの地区が抱える課題ですが、地域の子どもや小学生と田植えなどで交流を図っているほか、地域住民による小学校周辺の清掃活動などが精力的に行われています。これらの活動は子どもたちが地域の一員であり、地域の大人たちに支えられていると実感できる取り組みだといえるでしょう。人と人とのつながりという強みを生かして、様々な世代が地域での活動を支え楽しめる環境づくりが期待されています。



伊台地区

人口:6,166人(高齢化率31.8%)
世帯数:2,693世帯

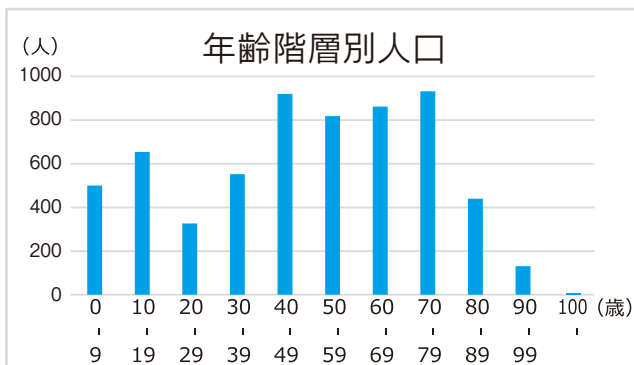


【地区の特色】

伊台地区は、松山市の北東に位置する標高約150mの盆地である。今でもたくさんの自然が残っており、野菜や果樹等の生産が盛んである。また「薄墨桜(うすすみざくら)」のある西法寺、本村天神社等数多くの史跡がある。市内からも近いので、松山市のベッドタウン的性格を持っており、地区外からの転入も多い。



薄墨桜



【地域住民からみた地域の状況】

地区の強み	<ul style="list-style-type: none"> ・古い歴史を持った地域と新興地域とが融合した活動ができている ・Uターン家族が多い ・環境に恵まれており、住みやすいと感じている ・自主防災組織があり、防災への意識が強い ・ゴミ出しに困っている人を地域の人が助けるなど、地域の間関係がよい ・アップダウンが多くウォーキングに適した地形 ・犯罪が少ない ・新しく道ができて便利になった ・自治会ごとに子ども会が活発に活動している
地区の弱み	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通機関の運行が少ない ・店舗、医療機関が少ない ・土砂災害の危険箇所が多い ・鳥獣害問題(イノシシ、サルが増えている) ・上下水道が自己管理 ・小野、北条方面へのアクセスが便利になった反面、交通量が増加し、朝の通勤時に混みあう
福祉課題	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の割合が高い地域である ・独居高齢者の孤立 ・公共交通機関が少ない(本数、運行時間) ・店舗が少なく、買い物に不便を感じている ・各種団体役員の後継者不足

伊台地区社会福祉協議会

構成団体	地区民協・公民館・分館・小学校・中学校・社会福祉法人・地域代表者会 消防団・中央農協・自治会・駐在所・高齢クラブ・PTA・まちづくり協議会	
主な取り組み	活動内容	
サロン活動の支援	いきいきサロン5ヶ所と地域交流サロン1ヶ所の活動が充実し、サロン同士の繋がりが深まるように支援を継続して行っています。	
ふれあい交流会	毎年、小学校と高齢者がスポーツやそうめん流し、ピザ作りの交流会を通じて親睦を深めています。	
各種団体との連携	避難所開設時の支援や地域行事への参加協力など、地区内の各種団体と連携し活動の強化を図っています。	

買い物弱者等支援事業（毎月1回日曜日）

交通の不便解消の為、福祉工房いだい清風園（障がい者支援施設）と協働で毎月第2もしくは第3日曜日に高齢者・障がい者等を対象に、買い物支援を行っています。清風園のバスを活用し、市内のスーパーで買い物をしたり昼食をとるなど、参加者同士の交流にも繋がっています。



<地区社協が目指すもの>

「楽しく、笑顔のある町、安らぎと思いやりのある町」を目指して、まちづくり協議会、公民館などその他関係機関と協力しながら、薄墨桜祭り、校区大運動会、盆踊り大会、秋祭りなどを通じて、地区住民との交流を深めています。

さらに、サロン活動を通じて高齢者の介護予防に努めたり、地区の高齢者・障がい者の支援を目的に、買い物弱者等支援事業を福祉施設と協働で実施するなど、各種福祉サービスを通じて地域の福祉促進に努め、住み良いまちづくりを目指しています。

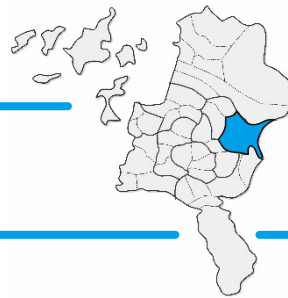
地区の状況	■地区民協	11名	■町内会・自治会・区長会等	13団体
	民生委員		■高齢クラブ	2クラブ
	主任児童委員	2名	■子ども会	0団体
	■まち協の設立	平成29年度	■自主防災組織	12組織

地区外からの転入の多い地域ではしばしば住民同士の軋轢が問題化することがありますが、それらを乗り越えて社会資源を共有する環境が作られています。このような関係性が作られているからこそ、自主防災組織が機能し、ゴミ出しなどでの助け合いが自然と取り組まれる土壤が定着したといえるでしょう。サロン活動や地域内の各種団体、地区内の福祉事業所との連携も活発に行われており、ふれあい交流会では多世代の交流がにぎやかに取り組まれています。地域内の様々な人や組織・団体がつながり助け合う姿を子どもたちが目にすることは、地域への愛着心を育てる貴重な機会となっており、将来の地域の担い手となることが期待されています。



湯山地区

人口:8,471人(高齢化率34.5%)
世帯数:4,072世帯

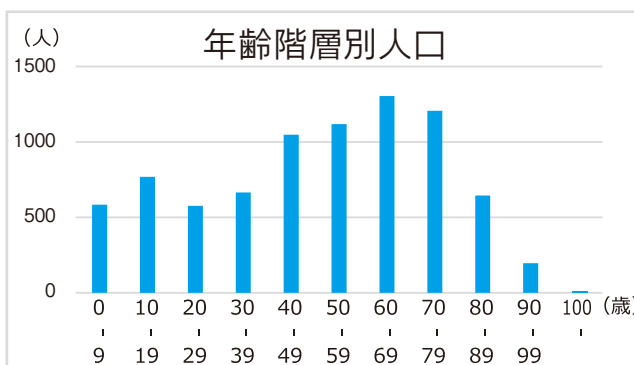


【地区の特色】

湯山地区は、松山市街東部・石手川の流域に位置し、以前はのどかな農山村であったが急速な宅地造成が進んでいる。また、石手川ダム上流の国道317号線沿いに位置する日浦地区は、近年は過疎化、高齢化が進んでいるが、石積みの棚田や彼岸花の自生する自然景観の美しい地域であり、地域全体が一丸となって、ほたるの里づくりなど水源保全地区ならではの活動を続けている。



夏まつり



【地域住民からみた地域の状況】

地区の強み	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の行事等の参加者が多い ・地域がまとまりやすい ・顔を見るだけで誰かわかる関係ができています ・自然がいっぱい ・たけのこがおいしい ・市内中心部まで近い ・生活がしやすい ・家賃が安い ・出合い(伝統的な近隣の助け合いのしくみ)がある ・農地が宅地になり地区によっては若い世代が増えている ・ダム周りの整備がされている
地区の弱み	<ul style="list-style-type: none"> ・老老介護人口が増えている ・子どもが減っている ・個人情報問題があり、家庭に入りにくい ・交通が不便である ・バスの便が少ない ・バス停までが遠い ・空き家、空き地が増えている ・坂道が多く、高齢者にはしんどい ・人を集めるのが大変 ・獣被害 ・出合いの活動が年約10回と少なくなった ・地区(湯山と日浦)によって差がある ・竹林放置 ・田んぼダムが無くなっている
福祉課題 地域が抱える	<ul style="list-style-type: none"> ・独居高齢者が増え、高齢化率が進んでいる ・70歳以下の人が少ない(日浦地区) ・公共交通機関が少ない(バスの便が少ない) ・運転免許がないと生活できない ・地域によっては、生活関連施設や医療、福祉関連施設がない ・防災に関する不安(避難所に行くまでの不安、避難所の耐震性が不安) ・児童館や高齢者の集いの場がない ・地域を守ろうとする意識が低い

湯山地区社会福祉協議会

構成団体	地区民協・公民館・支所・地区連絡協議会・日浦区長連合会・まちづくり協議会		
主な取り組み	活動内容		
高齢者見守り活動	独居高齢者に手作り弁当の配布や寝たきり及び認知症の方のお宅を訪問しお見舞金を渡すなど、地区民協と協力し見守り活動を行っています。		
世代間交流	小百合保育園の園児と地域の高齢者が、歌や工作を一緒に楽しむなどし、交流を深めています。		
健康講座	健康維持に関する話を聞くとともに、活動を通して地域の絆が深まり、住みやすい地域づくりの推進になるよう開催しています。		

夏休み将棋教室(8月)

地域の将棋名人が湯山児童クラブの子どもたちに毎年夏休みを利用して将棋を教えています。ここで将棋を学ぶ子や年々腕を上げる子も多く、対局を楽しみにしています。将棋教室を通じて世代間の交流が深まっています。



<地区社協が目指すもの>

湯山地区は、松山市の水瓶となる石手川ダムがある地区で、石手川の流域に集落が点在するのどかな農山村地域です。道後に隣接する地域では宅地造成等が進み、人口増加の傾向にありますが、石手川ダム上流の日浦地区では特に少子高齢化や過疎化が進んでいます。

湯山地区では、地域住民の交流が図れるふれあい・いきいきサロン等を通じて、誰もが安全で安心して暮らせる地域・環境づくりを目指しています。また、災害時の救援活動として行政や諸関係機関・団体等と連携し、要支援者等の把握にも努めています。

地区の状況	■地区民協	15名	■町内会・自治会・区長会等	43団体
	民生委員 主任児童委員		2名	■高齢クラブ
	■まち協の設立	平成28年度	■子ども会	6団体
			■自主防災組織	40組織

他の地区と比べ、自主防災組織の組織数が多く地域内で「互いの顔がわかる関係」が構築され地区住民の凝集性が高い地区です。少子高齢化が課題となりつつも、高齢者見守り活動や保育園での世代間交流、大人と子どもの交流の場となる夏休み将棋教室など多様な世代が関わる活動が盛んに取り組まれています。結果、人間関係が豊かであるという地区の強みに繋がっているといえるでしょう。宅地が増えて若い世代が入ってくるなどの変化はありますが、地区の強みを生かして新しい住民と既存の強みをつなげ、さらに発展することを期待します。

